

Hi-OVIS (昭和53年~61年) プロジェクトについて (当協会の前身である旧財団法人映像システム開発協会からのプロジェクト)

Hi-OVIS (Highly-interactive Optical VisualInformation System) は、奈良県東生駒を実験フィールドとして、家庭や公共施設と実験センター間に光ファイバーを敷設し、双方向の映像利用実験を行うという世界で初めて大規模な光通信技術を取り入れたプロジェクトです。双方向TV、ビデオオンデマンド、ホームショッピング、ホームセキュリティなど、現在でも世界中でトライアルが行われているサービスが20年以上も前に実験的に運用されました。ニューメディアという言葉すらなかった時期に、東生駒を実験の舞台に実施されたHi-OVISプロジェクトの成果は、今日のIT革命の先駆といえる事業です。

詳細は下記のホームページをご覧ください。
URL <http://www.nmda.or.jp/nmda/nmda-hiovis.html>

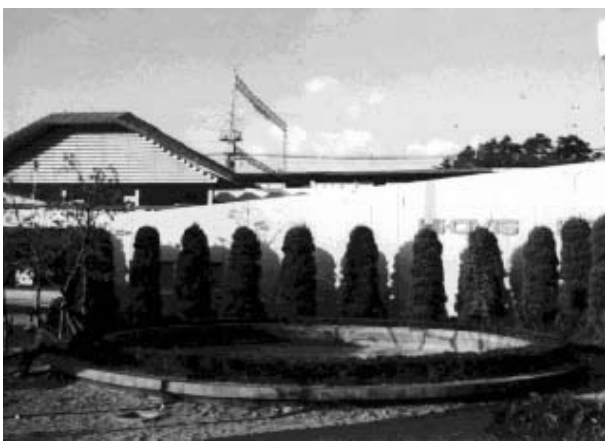


写真1 Hi-OVIS実験センタ



写真2 Hi-OVISモニタ家庭

6年度 (1994年)	7年度 (1995年)	8年度 (1996年)	9年度 (1997年)	10年度 (1998年)	11年度 (1999年)	12年度 (2000年)	13年度 (2001年)	14年度 (2002年)	15年度 (2003年)	16年度 (2004年)
		(亀井正夫氏)						(森下洋一)		
			(鈴木 健氏)			(岡部武尚)				
					(常務理事 国分明男)					